

前回の復習「家計簿」から始まる

1. 差引残額の数式

F4セルに、収入金額と支出金額の欄が空白ならば空白、空白でなければC4-E4

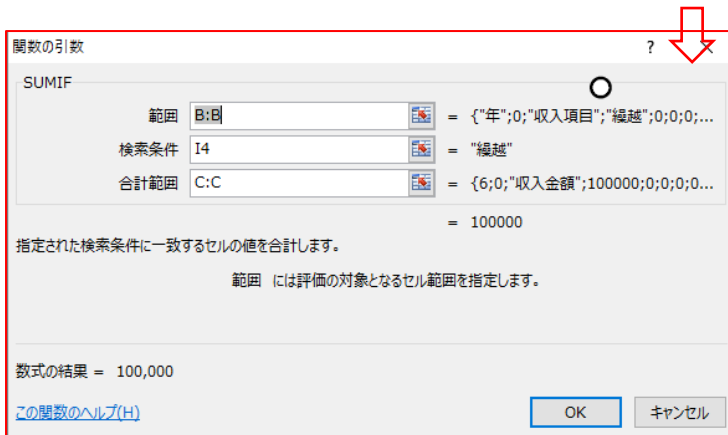
F5セルに、収入金額と支出金額の欄が空白ならば空白、空白でなければF4+C5-E5

2. 集計欄：数式を設定して自動表示

「SUMIF」関数を使用して項目ごとに集計する。

=SUMIF（範囲,検索条件,合計範囲）

SUMIF関数は、「検索条件」にあった値を「範囲」の中からみつけ、それに対応する値の合計を「合計範囲」から求めます。[関数の挿入] ボタンをクリックして [関数の分類] で [数学/三角] を選択すると、SUMIF関数が簡単に入力できます



6~9月]シートを「6月」「7月」「8月」「9月」各シートに分け、各月の集計表を作る（前月よりの繰越欄を忘れずに！）最後のシートに「6~9月分」の合計集計表を作る

3. 串刺し計算（3-D 計算）

シートごとの表が同じ形で、合計の対象となる金額（データ）がすべてのシートの同じ位置にあるとシート間を“串刺し”するように合計できる。

「6~9月分集計」シートの項目の合計を表示するセルに「=SUM0」を入力して、「6月分」シートの項目「年金」の金額が入っているセルをクリック、「Shift」キーを押しながら「9月分」シート見出しをクリックして「Enter」キーで確定する。

	A	B	C
1	収入項目	収入金額	
2	繰越	100,000	
3	雑収入	=SUM(6~9月分集計!B3)	
4	年金	SUM(数値1, [数値2], ...)	
5			
6			
7	合計		
8			

6~9月分集計